

8 センタールーフの重ね葺き工法

8-2 下葺材の施工

一般施工仕様

重ね葺き工法：耐水合板施工
葺き替え工法

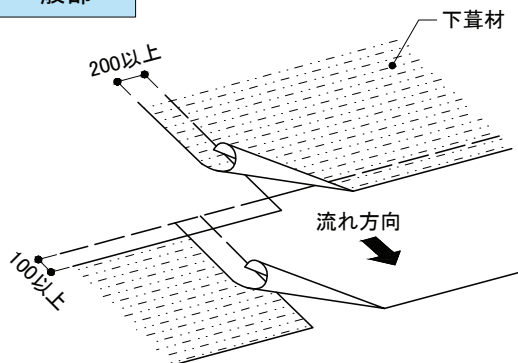
3) 一般施工仕様

本施工法は、重ね葺き工法の耐水合板仕様および葺き替え工法で「屋根勾配3.5寸以上」の屋根に適用されます。

【使用する下葺材】

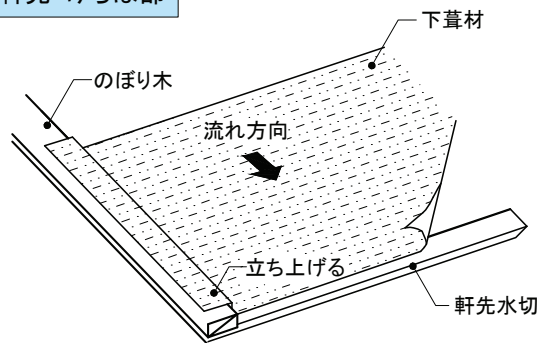
アスファルトルーフィング940(JIS A 6005)、改質アスファルトルーフィング(ゴムアス)：厚1.0mm以上

一般部



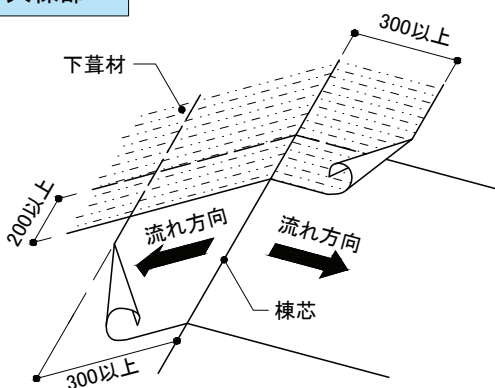
●重ねしろは上下100mm以上、左右200mm以上とします。

軒先・けらば部



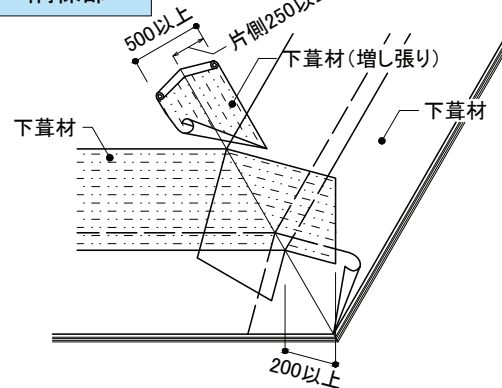
●軒先部は軒先水切の半分程度まで下葺材をかぶせます。
●けらば部はのぼり木を設置し、下葺材を立ち上げます。

大棟部



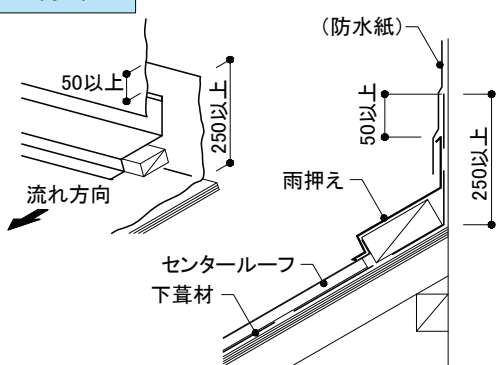
●大棟部は、片側300mm以上(計600mm以上)重ねます。

隅棟部



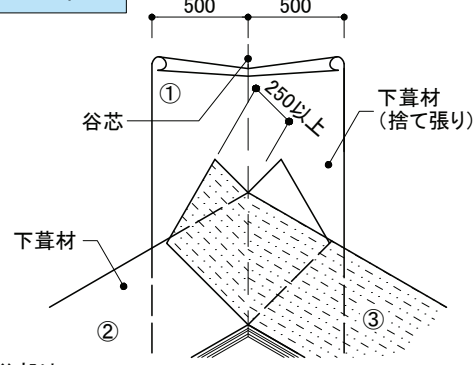
●隅棟部は、屋根面より200mm以上下葺材を敷き延ばして施工した後、幅500mm以上の下葺材を隅棟芯に沿って増し張りします。

壁際部



●壁際部は、250mm以上(雨押え金物の上端より50mm以上)立ち上げます。

谷部



●谷部は、
①谷芯を中心に片側500mm以上下葺材を捨て張りし、
②、③は、両側から谷芯より250mm以上敷き延ばします。
(図中の○数字は、施工の順番を表しています。)